

藤樹書院・良知館通信⑧

「藤樹書院参拝者の推移とアンケート結果」

志村 洋

《参拝者数は？》

藤樹書院には全国各地や最近では中国、韓国から参拝者の方が来られます。「藤樹書院には年間、何人くらいの参拝者があるの？」

参拝者の状況を報告したいと思えます。手元に記録のある平成九年度から見ていくと、次表のような状況です。

平成二十年は中江藤樹生誕四百年祭があり一万人を超える参拝者がありました。その後は五千人〜六千人で推移しています。(単位は人)

平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年
4379	4107	4337	3863	3687
平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
3629	3735	6769	5658	8045
平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
7645	11274	5352	5282	4911
平成24年	平成25年	平成26年	平成28年	平成29年
6132	5489	6168	5624	5124

月別で見るとやはり四月、五月、十一月の気候の良い時期、行楽期が五百〜六百人と多く、二月が二百人台で、積雪期や寒さで出難いかと思っっています。平成三十年度は「猛暑の夏」もあって

例年どおりの五千人になるのか?どうか?という状況です。

《参拝者のアンケート結果》

藤樹書院では参拝者の皆さんからご意見・感想をいただいています。藤樹書院の一日は、書院境内と良知館の掃除から始まりますが、「庭が美しい」「庭の手入れも行き届いている」と言った感想をいただいています。

そのほか、「解説の内容がとても面白い、扁額を一人で拝見してもよく判らないが、意味を持って知ることが出来た。又、実際に住み教ええられた土地を訪れることができたことも嬉しい。」「『致良知』私も心掛けていきたいと思えました。」「町全体がとてもきれいで、整っていてきちんと暮らされている事を感じました。藤樹先生の教えが受け継がれていると感じました。」「藤樹先生の思想に触れる事が出来、楽しめました。」「『藤樹』という名前の由来や教えを知り、とても勉強になりました。」「どうぞ後の世にも繋げて行って欲しいです。」など。

参拝者の皆さんから意見は少ないのですが、藤樹先生の教えについて学ぶことが出来たなど、永く続いてきた参拝者への説明によって理解が深まったと思われる感想が多く、引き続き参拝者の皆さんを温かくお迎えしたいと思っっています。年中無休です、思い立ったら藤樹書院へ。

賛助会員一覧

- ご協力ありがとうございます
- ウェストレイクホテル可以登楼
 - 株式会社 大山建設
 - 川島酒造 株式会社
 - 株式会社 桑原組
 - 有限会社 宏和商事
 - 税理士法人・小畑会計事務所
 - 有限会社 白浜荘
 - 社会福祉法人 新旭みのり会
 - ソエダ 株式会社
 - 田中マネジメント事務所
 - 株式会社 TADコーポレーション
 - 鉄屋商事 株式会社
 - 寺子屋まなざし童心塾
 - 株式会社 戸井薬局
 - とも栄 藤樹街道本店
 - 中村印刷 株式会社
 - 株式会社 中村測量設計
 - ニッケイ工業 株式会社
 - 有限会社 馬場塗装
 - 三田村印刷 株式会社
 - 有限会社 綿庄食品店
- (五十音順)

お願い

寄稿やご意見(藤樹会や本会報等について)をお寄せください。

〒520-1531
高島市新旭町饗庭 2788
三田村治夫(広報担当)宛
TEL・FAX: 0740-25-2246
E-mail:
mitamura.haruo@ruby.plala.or.jp

あとがき

周りの人々の幸せを…

平成最後のお正月を迎えました。本年が皆様方にとって幸せな年となるよう祈念いたします。

さて、この暮れに「幸せな明日をめざして」の特集(朝日新聞12月31日)に、二度の宇宙飛行を経験された向井千秋さんの『自分ファースト』捨ててこそ』と題してのメッセージがありました。多種多様な生命体が共に暮らす豊かな地球。貴重な多様性を守るには、個人が自分を第一に考える「○○ファースト」ではなく、周りの人々の幸せを考えて行動しなくてはなりません…と、続いていきます。

確かに今の社会は、人や家・村の孤立化が進み、いじめ、セクハラ、パワハラ等人権侵害事案が顕著化するなど、人々の共生に逆行する流れが見られます。ただ、こうした時勢への危機感から、「絆」「繋がり」「協働」「ボランティア」を重視する、所謂「揺り戻し」も頭れてきています。

向井さんの「周りの人々の幸せを考えて行動する」に応えて、自分のできる範囲での小さな一歩を歩み出す年にしたいです。

地域の福祉サロン・見守り活動で、子供たちを温かく見守る地域学校協働活動で、災害時の共助に向けて、

(H・M)